R063238

TOTO　**施工説明書**

電気温水器
湯ぽっと REW-Bシリーズ
REW06型、REW12型、REW25型、REW30型、REW35型

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
この施工説明書では、製品を正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害及び工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、つぎのようになっています。内容をよく理解して正しく取付けてください。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示についてはつぎの意味があります。

表示	意味	表示	意味
⃠	一般的な禁止	（水場禁止）	水場で使用禁止
❗	必ず行う	（アース）	アースを接続せよ

取付け工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い器具のがたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠警告

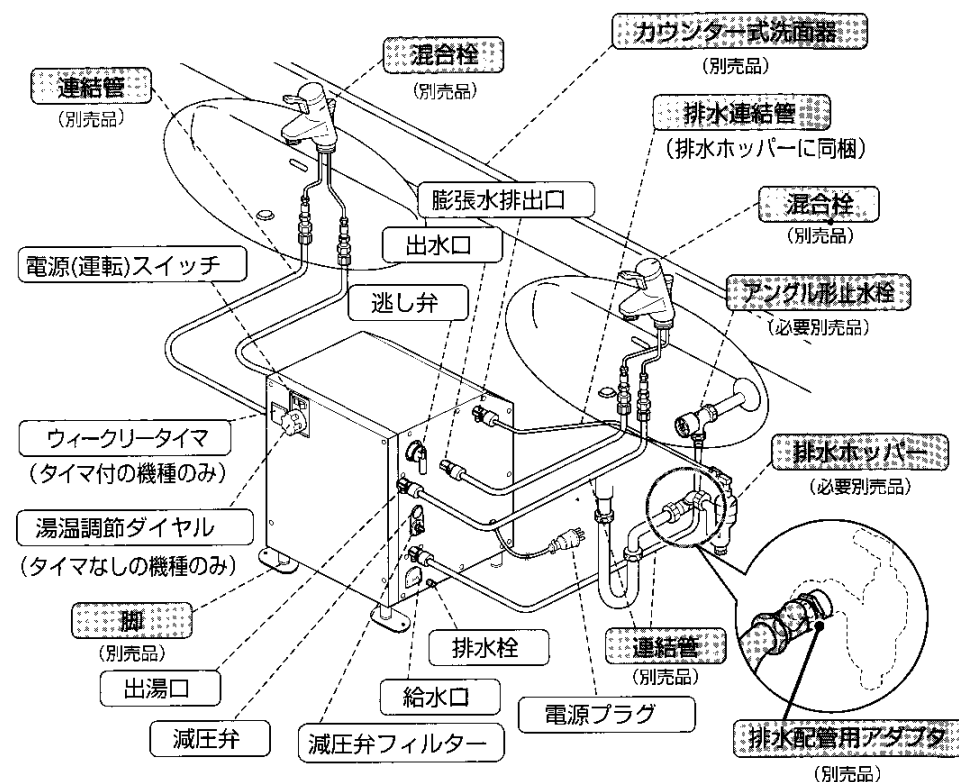
表示	内容
禁止	屋内用ですので屋外には設置しないでください。（故障・感電の原因になります）
	コードを乱暴に扱ったり、がたついているコンセントに差込まないでください。（火災の原因になります）
必ず行う	使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。（火災の原因になります）
	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行ってください。また、漏電遮断器を取付けてください。（誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。（故障・感電の原因になります）
アース接続	必ずアース工事を行ってください。（感電のおそれがあります）

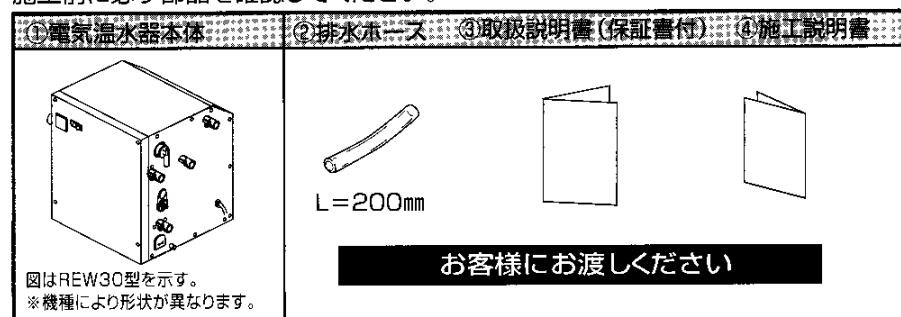
⚠注意

表示	内容
禁止	タンクが空のときは、絶対に電源プラグをコンセントに差込まないでください。（空だきとなり故障・やけどの原因になります）
	水道水以外は、通水しないでください。（井戸水等を通水すると腐食等により漏水するおそれがあります）
	製品に強い力や衝撃を与えないでください。（故障や水漏れの原因になります）
必ず行う	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内のお湯を抜いてください。「14 機器内の水抜き」を参照ください。（凍結により破損し、漏水するおそれがあります。）
	必ず連結管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取付けてください。（凍結した場合、破損し漏水するおそれがあります）
	排水管は、耐熱性のものを使用してください。（熱による変形や割れ等で漏水するおそれがあります）
	必ず湯水が混合できる先止め水栓を取付けてください。（高温の湯が出てやけどの原因になります）

おねがい

- 給水圧力は0.05～0.75MPa（自動水栓との接続の場合0.1～0.75MPa）です。
- 必ずフィルター付アングル形止水栓（必要別売品）を取付けてください。
- 必ず膨張水処理のため排水ホッパー（必要別売品）を取付けてください。
- 取扱説明書の保証書に、お買い上げ店又は、工事店名及びお取付け日を必ず記入してください。
- 空だき、施工上の責任は、当社では、負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合、貴店の保証規定によって修理していただくようおねがいいたします。

2 各部の名称

3 部品の確認

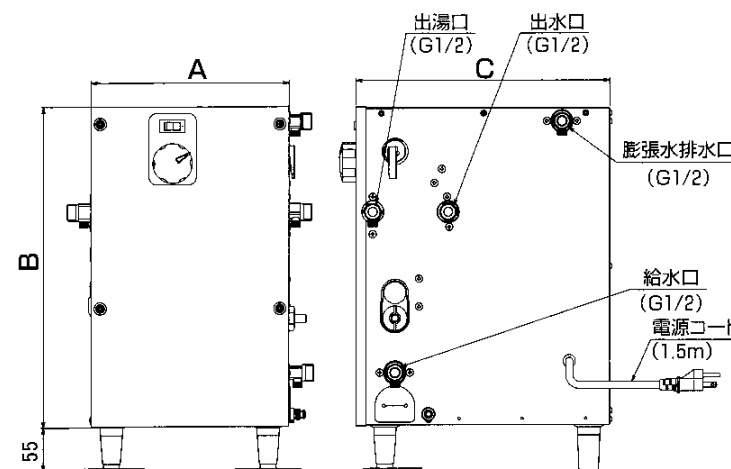
施工前に必ず部品を確認してください。

4 仕様

- 給水方式：先止め式（減圧弁、逃し弁内蔵）
- 沸き上がり温度：約30～75℃　※(おまかせ節電保温時約60℃)
- 使用水圧：0.05～0.75MPa
  ※自動水栓と接続する場合、0.1～0.75MPa
- 使用可能雰囲気温度：0～40℃(凍結不可)
- 安全装置：温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル)
  ※過電流防止器(ヒューズ)

※はタイマ付の機種のみ

詳しくは取扱説明書を参照してください。

5 寸法図

- 図はREW12型（タイマなし）の例

	幅（A）	高さ（B）	奥 行(C)
REW06型	175	390	280
REW12型	250	403	320
REW25型	360	402	395
REW30型	378	480	435
REW35型	378	480	435

6 別売品一覧

品名	品番	メーカー希望小売価格	備考	
★排水ホッパー 密閉式	RHE97N	¥17,000	膨張水処理用	
★排水ホッパー 開放式	RHE22A	¥12,000		
★アングル形止水栓	TL347C	¥4,500	給水用フィルター付（壁給水用）	
	TL347C1	¥9,000	給水用フィルター付（床給水用）	
湯ぽっと用脚	RHE1N	¥1,400	床に直接設置する場合及び水にひたるおそれのある場合に使用	
中継コード	RHE34	¥1,600	タイマ連動用	
排水配管用アダプタ	T1122T	¥720	40㎜塩ビ管用、排水ホッパー接続用（壁床排水用）	
	T1122J	¥480	30㎜塩ビ管用、排水ホッパー接続用（壁排水用）	
	T1122	¥1,200	R1¼鋼管用（壁排水用）、排水ホッパー接続用	
接続口キャップ（ふさぎふた）	TH651	¥210	水栓を1個接続する場合に使用（6Lは除く）	
水栓固定金具	TN57−1X	¥21,000	2個入	専用自動水栓以外の自動水栓固定用
3連出湯用金具	RHE221	¥4,000	2個入	3連設置対応用分岐金具（30, 35L用）
専用自動水栓	TEL81A2X	¥79,500	ポップアップ有	
	TEL80A2X		ポップアップ無	
連結管	TN65LX50	¥1,500	L500㎜×1本	止水栓−本体給水接続用
	TN65LX60	¥1,750	L600㎜×1本	
	TN65LX75	¥2,950	L750㎜×1本	
	TN65−9RX	¥5,500	L400㎜×1本 L600㎜×2本 ニップル×2個	1穴シングルレバー混合栓を1個接続する場合
	TN65−8X	¥6,700	L450㎜×1本 L750㎜×1本 L600㎜×1本	2穴混合栓を1個接続する場合
	TN65−11X	¥5,800	L500㎜×3本 ニップル×2個 接続口キャップ×2個	1穴シングルレバー混合栓を1個接続する場合
	TN65−12X	¥9,700	L600㎜×5本 ニップル×4個	1穴シングルレバー混合栓を2個接続する場合
	TN65−13X	¥5,600	L600㎜×2本 L500㎜×1本 接続口キャップ×2個	2穴混合栓を1個接続する場合
	TN65−14X	¥9,300	L600㎜×3本 L750㎜×2本	2穴混合栓を2個接続する場合

★は、必要別売品です。

7 標準施工図

自動水栓 洗面器1連設置例（図はREW12型の例）

※A、B寸法は P4「5 寸法図」をご覧ください。

	連結管長さ（㎜）				
	REW06型	REW12型	REW25型	REW30型	REW35型
給水側	600	500	500	500	500

1穴混合栓 洗面器1連設置例（図はREW12型の例）

※A、B寸法は P4「5 寸法図」をご覧ください。

	連結管長さ（㎜）				
	REW06型	REW12型	REW25型	REW30型	REW35型
出湯側	400	500	500	500	500
出水側	600	500	500	500	500
給水側	600	500	500	500	500

自動水栓 洗面器2連設置例（図はREW12型の例）

※A、B寸法は P4「5 寸法図」をご覧ください。

	連結管長さ（㎜）				
	REW06型	REW12型	REW25型	REW30型	REW35型
給水側		600	600	600	600

1穴混合栓 洗面器2連設置例（図はREW12型の例）

※A、B寸法は P4「5 寸法図」をご覧ください。

		連結管長さ（㎜）				
		REW06型	REW12型	REW25型	REW30型	REW35型
給水側	出水側	出湯側		600	600	600	600

自動水栓 洗面器3連設置例（図はREW30型の例）

※A、B寸法は P4「5 寸法図」をご覧ください。

	連結管長さ（㎜）				
	REW06型	REW12型	REW25型	REW30型	REW35型
給水側				600	600
出水側				現場手配	
出湯側					

1穴混合栓 洗面器3連設置例（図はREW30型の例）

※A、B寸法は P4「5 寸法図」をご覧ください。

	連結管長さ（㎜）				
	REW06型	REW12型	REW25型	REW30型	REW35型
給水側				600	600
出水側				現場手配	
出湯側					

8 電気温水器本体の設置

⚠警告	
禁止	屋内用ですので屋外には設置しないでください。 （故障·感電の原因になります）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 （故障·感電の原因になります）

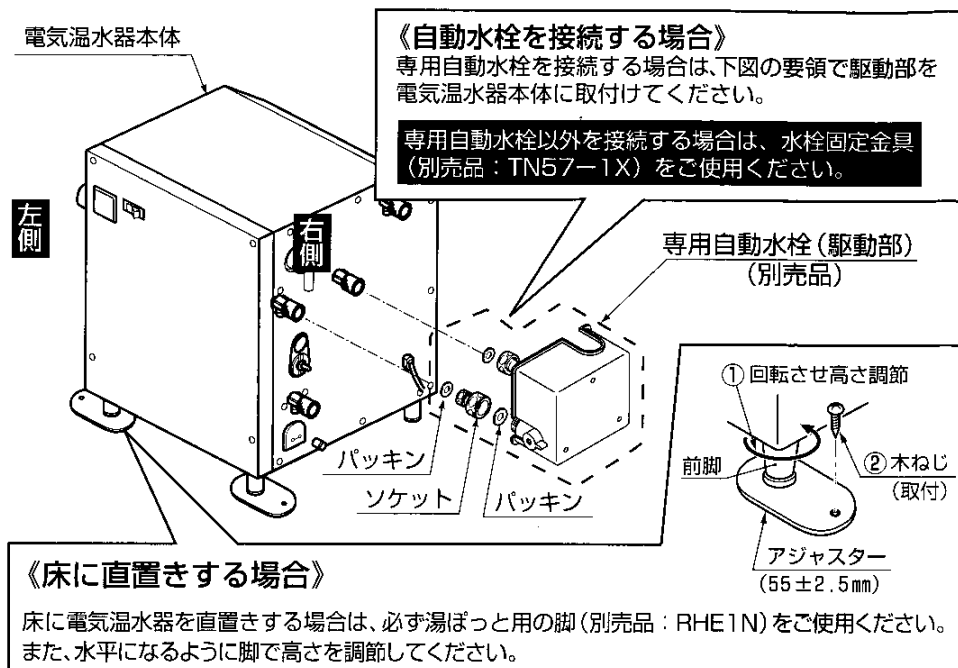
下図の要領で電気温水器本体を設置してください。

《自動水栓を接続する場合》

専用自動水栓を接続する場合は、下図の要領で駆動部を電気温水器本体に取付けてください。

専用自動水栓以外を接続する場合は、水栓固定金具（別売品：TN57−1X）をご使用ください。

《床に直置きする場合》

床に電気温水器を直置きする場合は、必ず湯ぽっと用の脚（別売品：RHE1N）をご使用ください。
また、水平になるように脚で高さを調節してください。

《3連設置する場合(30,35L)》

- 3連設置する場合は、必ず**電気温水器本体右側に、3連出湯用金具**（別売品:RHE221）を取付けてください。

注）電気温水器本体左側に3連出湯用金具を取付けると左右のバランスがくずれ湯量が少なくなることがあります。

- 自動水栓を3連設置する場合は、電気温水器本体**左側に専用自動水栓（駆動部）**を取付け、右側は水栓固定金具（別売品:TN57−1X）で自動水栓を固定し、取付けてください。

9 連結管（別売品）の取付け

- 建築躯体側配管の配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取付けないでください。
  （接着剤が乾いていない状態でお湯を通すとお湯が臭うことがあります。必ず接着剤が乾いていることを確認してから取付けてください。）

混合栓（別売品）及び止水栓（別売品）に連結管を接続してください。

※混合栓の取付方法は、混合栓に同梱の「施工説明書」を参照してください。

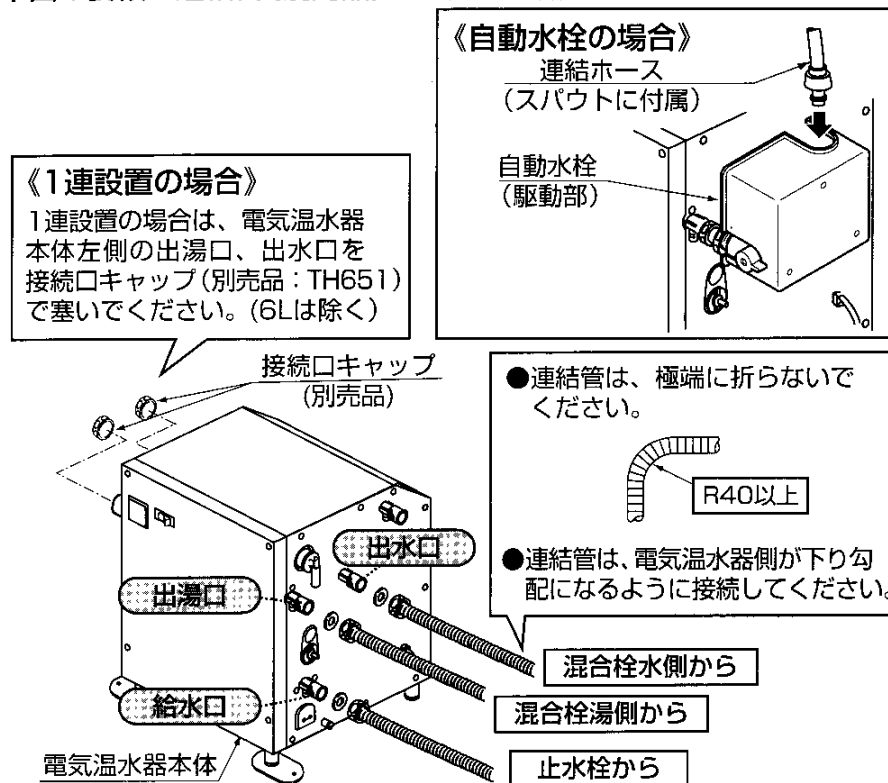
- 給水配管中のゴミを排出するため、給水口に給水配管を接続する前に、必ず止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨ててください。
  （配管中の小さなゴミが機器本体内に入ると減圧弁·逃し弁に付着し、故障の原因になります。）
- 混合栓水側への給水配管は、必ず電気温水器の出水口より接続してください。
  （減圧弁の故障の原因になります。）

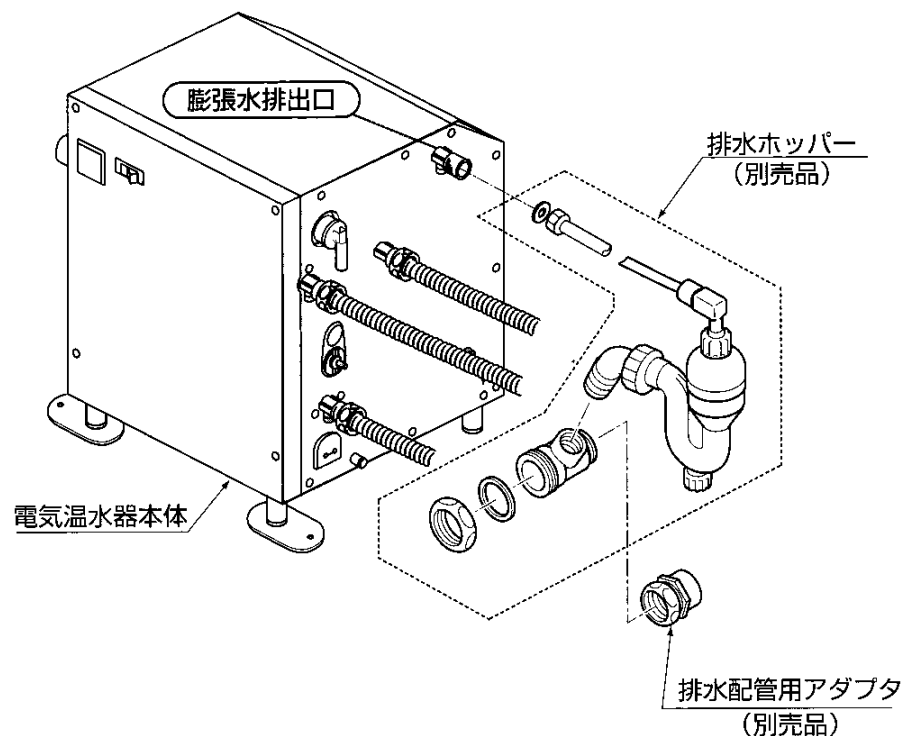
下図の要領で連結管（別売品）を電気温水器本体に接続してください。

《自動水栓の場合》

《1連設置の場合》

1連設置の場合は、電気温水器本体左側の出湯口、出水口を接続口キャップ（別売品：TH651）で塞いでください。（6Lは除く）

- 連結管は、極端に折らないでください。
- 連結管は、電気温水器側が下り勾配になるように接続してください。

10 排水ホッパー(別売品)の取付け

下図の要領で排水ホッパー(別売品)を電気温水器本体の膨張水排出口に接続してください。

※排水ホッパーは必ず、電気温水器1台につき、1個取付けてください。

※排水ホッパーの取付けは、排水ホッパーに同梱の「施工説明書」にしたがって取付けてください。

11 中継コードの接続

警告

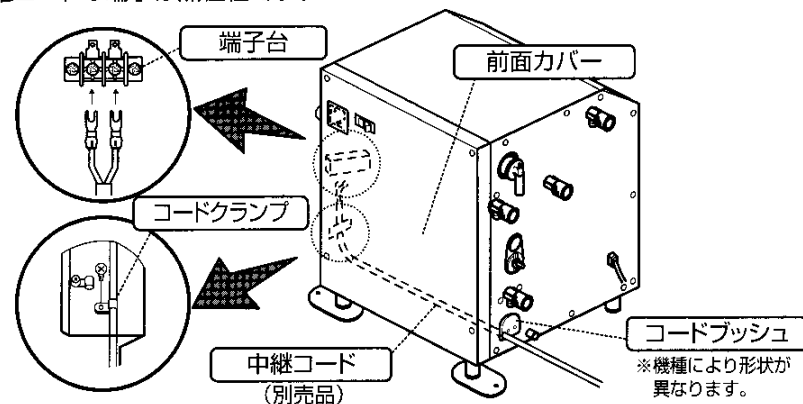
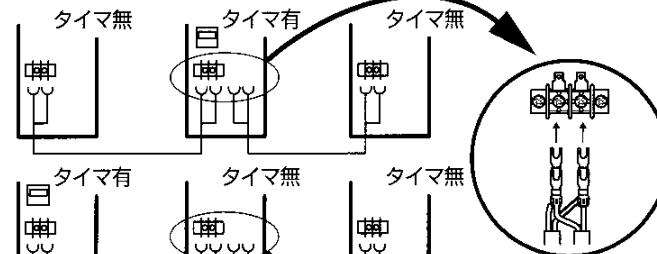
必ず行う

中継コードを接続する際は、必ず電源コードを抜いてください。
(感電の原因になります)

中継コードでタイマ有とタイマ無の電気温水器を連動させる場合は、つぎの手順で中継コードを接続してください。

①電源(運転)スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
②中継コードを機器のコードブッシュに通す。
③機器の前面カバーを取外し、端子台に中継コードの端子をねじで固定する。
④中継コードをコードクランプで固定する。

※連動できるのはタイマのON/OFF時間です。「おまかせ節電機能」はタイマ無タイプには連動しません。

※中継コードの接続方法は、タイマ有、無共に同じです。
※中継コードの端子は無極性です。

《3台以上接続する場合の接続例》

12 電気工事

⚠警告

アース接続	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、D種接地工事（100Ω以下）を行ってください。 また、漏電遮断器を取付けてください。 （誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります）
必ず行う	消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。 （火災の原因になります）

1）電源が規定の電圧であることを確認してください。

2）接地付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保してください。

	品番※	電圧	消費電力	対応コンセント
REW06型	REW06A1＊＊	単相100V	1.1kW	WK3001（露出型）：松下電工 WN1101（埋込み型）：松下電工
	REW06A2＊＊	単相200V		WK2320（露出型）：松下電工 WF2320（埋込み型）：松下電工
REW12型	REW12A1＊＊	単相100V		WK3001（露出型）：松下電工 WN1101（埋込み型）：松下電工
	REW12B2＊＊	単相200V	1.5kW	WK2320（露出型）：松下電工 WF2320（埋込み型）：松下電工
REW25型	REW25A1＊＊	単相100V	1.1kW	WK3001（露出型）：松下電工 WN1101（埋込み型）：松下電工
	REW25C2＊＊	単相200V	2.0kW	WK2320（露出型）：松下電工 WF2320（埋込み型）：松下電工
REW30型	REW30A1＊＊	単相100V	1.1kW	WK3001（露出型）：松下電工 WN1101（埋込み型）：松下電工
	REW30D2＊＊	単相200V	3.1kW	WK2520（露出型）：松下電工 WF2520（埋込み型）：松下電工
REW35型	REW35D2＊＊	単相200V		

※品番は、電気温水器本体側面の銘板で確認してください。

13 試 運 転

⚠注意

禁止	タンクが空のときは絶対に電源プラグをコンセントに差込まないでください。（空だきとなり故障・やけどの原因になります）

●機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、**膨張水排出口から微量の水が流れ続ける場合**があります。
そのような場合は以下の操作を行ってください。
1）逃し弁のレバーを立てて、膨張水排出口から1分間ほど水を排出させ続けてください。
2）逃し弁のレバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けないことを確認してください。
（注）流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

1）電気温水器への給水

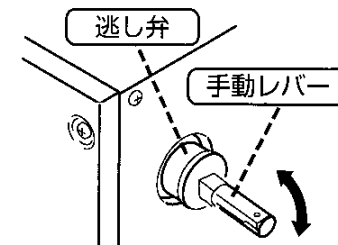
《シングルレバー混合栓及び2バルブ混合栓の場合》

①止水栓を開ける。
②混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
③混合栓から安定して水が出はじめるとタンクは満水です。
④混合栓を閉める。
⑤配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

《自動水栓の場合》

①止水栓を開ける。
②自動水栓(駆動部)の温調ハンドルを湯側全開にする。
③逃し弁の手動レバーを引き上げる。
④排水ホッパーから水が出はじめたら逃し弁の手動レバーを元に戻す。
⑤自動水栓のスパウトのセンサーを作動させ水が出はじめたら、タンクは満水です。
⑥配管接続部からの水漏れがないことを確認する。
⑦自動水栓（駆動部）の温調ハンドルを戻す。

湯(H)側にする

湯
水
温調ハンドル

2）電気温水器への通電

①タンクが満水になったことを確認し、電源プラグを差込む。
②タイマを取扱説明書にしたがって設定し、タイマの運転時間内であることを確認する。
③沸き上げ温度を設定する。
●タイマ付機種：タイマの温度設定スイッチで設定する。
●タイマ無機種：湯温調節ダイヤルで設定する。
④電源（運転）スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。
⑤電源（運転）スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
（ランプは、消灯します）

●タイマ表示部がイラストのように「88:88」で点滅している場合、空だきさせた可能性がありますので、その際は次の処置を行ってください。
（タイマ付機種のみ）

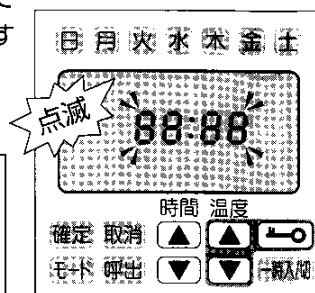
①電源（運転）スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
②タンクに水を入れ、再度電源プラグをコンセントに差し込む。
③電源（運転）スイッチを「入」にする。

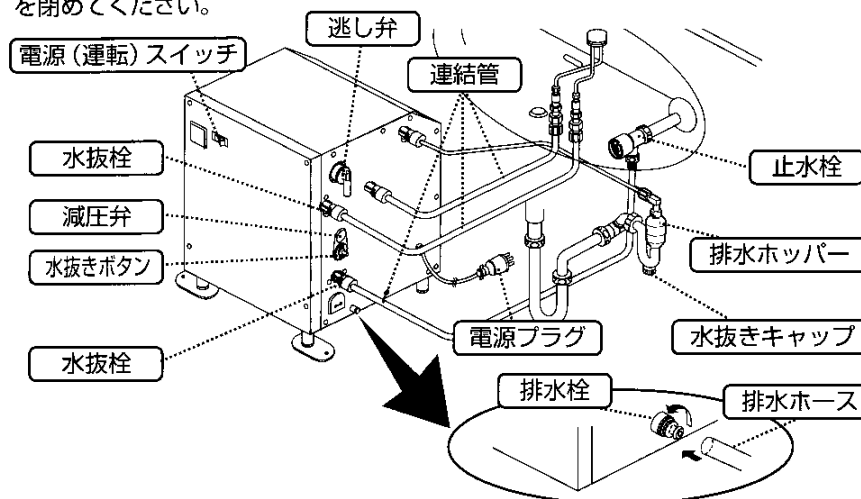
上記処置を実施してもお湯が沸かない場合は、東陶メンテナンス（株）に相談してください。
フリーダイヤル0120−1010−05

減圧弁、止水栓のフィルターにゴミが詰ると故障の原因になります。
試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
（掃除の方法は、取扱説明書を参照してください）

減圧弁、逃し弁は消耗品です。
劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。
必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。

14 機器内の水抜き

⚠注意

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内のお湯を抜いてください。（凍結により破損し、漏水するおそれがあります。

〔水抜き手順〕
①電源（運転）スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
②混合栓の水側及び湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。
注 タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
③止水栓を閉める。
④逃し弁の手動レバーを引き上げる。
⑤出湯口、給水口および膨張水排出口の水抜栓を開け、連結管内の水を抜く。
注)水を抜く際は、必ず受け皿等で受けてください。
⑥同梱の排水ホースを機器本体の排水栓に接続し、排水栓を開け、タンク内の水を抜く。
注)水を抜く際は、必ず受け皿等で受けてください。
⑦減圧弁の水抜きボタンを押し、配管および減圧弁内の水を給水口の水抜栓より抜く。
⑧排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。
⑨水抜きが完了したら機器本体の水抜栓·排水栓及び排水ホッパーの水抜きキャップを閉めてください。

配管の凍結予防

●電源（運転）スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材又は、ヒータを巻いてください。